東九州道大鳥川橋橋台部の斜面崩壊による現地調査(鹿児島県大崎町野方)

鹿児島県大崎町野方の東九州道大鳥川橋橋台部において、降雨により繰り返し浸食を受けたことによる斜面崩壊が発生。

現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

出席者: 鹿児島大学 審良准教授

● TEC-Doctorによる現地調査(令和5年9月28日)







【今回の災害について】

〇現地状況について、土砂崩壊はしてはいるが現時点で車の通行に支障はないと考えるられる。 【対策方法について】

- 〇.応急対応として、
- ・地震発生時に現地状況が心配されるため、明確な通行止め基準を設けることが必要
- ・雨による浸食が心配されるため保護が必要
- ・大鳥川橋(上り)の自動車の走行速度について看板等で抑制が必要
- ・センサーについて下部工の挙動が分かるように設置すること
- ・カメラについては路面が見えるように設置すること

東九州道大鳥川橋橋台部の斜面崩壊による現地調査(鹿児島県大崎町野方)

鹿児島県大崎町野方の東九州道大鳥川橋橋台部において、降雨により繰り返し浸食を受けたことによる斜面崩壊が発生。

現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

出席者:宮崎大学 李准教授

● TEC-Doctorによる現地調査(令和5年9月29日)







【今回の災害について】

○現状では躯体への斜面崩壊の影響はないと思われる。

【対策方法について】

- 〇.応急対応として、
- 現状では問題ないが降雨時は通行止めの基準を下げるなどの配慮が必要。
- ・雨による浸食が心配なので保護が必要。

東九州道大鳥川橋橋台部の斜面崩壊による現地調査 (鹿児島県大崎町野方)

鹿児島県大崎町野方の東九州道大鳥川橋橋台部において、降雨により繰り返し浸食を受けたことによる斜面崩壊が発生。

現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

出席者: 鹿児島大学 酒匂教授

● TEC-Doctorによる現地調査(令和5年10月3日)







【今回の災害について】

〇今回の浸食は雨水によるものと考えられる。地滑りを起こした様子もなく浸食されたところ以外は 健全な状態と考えられる。

【対策方法について】

- 〇.応急対応として、
- ・今後、雨による浸食を受けないよう保護が必要
- ・地震による影響について懸念があるため、注視していく必要がある
- ○本復旧時は、排水の処理を適切に行うこと